

# 羅針盤

介護福祉士

# らしんばん

No.67 (No.25)

平成 28 年 2 月 発行  
一般社団法人岡山県介護福祉士会  
〒 700-0813  
岡山市北区石関町 2-1  
岡山県総合福祉会館 5 階  
TEL : 086-222-3125  
URL : <http://www.okayama-kaigo.jp>  
印刷編集協力 : 友野印刷



▲「取れたよ〜!!」 夏まつり



▲「あらよっと!」  
腰もふりふり「アロハ〜」  
敬老会 ~ボランティアさんと~



▲「白組ファイト!」 運動会



▲やわらかい陽ざしの中で



## えがお

社会福祉法人旭川荘「デイサービスセンター敬老園」では、四季を通して様々な行事が開催され、その中で多くの笑顔が生まれます。

もちろん行事だけではなく、日常生活の何気ない一コマでも笑顔に出会えます。

そんな利用者さんの笑顔は、私たち介護者に多くの力を与えてくれます。

力の源です!

少しでも多くの方々に笑顔になってもらえ、笑顔の絶えない施設でありたいと思います。

デイサービスセンター敬老園 林 益枝

# 平成27年度 介護フェア開催

日時 平成27年11月7日（土）10:30～15:45

会場 岡山県総合福祉会館

11月11日の「介護の日」を前に毎年介護フェアを開催しており、今年で7回目を迎えました。高齢化社会の中で、介護に関する社会的問題が取りざたされることが度々です。

そうした中で、介護サービスを利用して安心して暮らせるよう、介護従事者は優しく利用者主体に介護ができるように、介護を学ぶ学生は、介護の仕事が魅力あるものとなるよう、そして、介護に関わっていない方々も介護を身近なものとしてとらえていただけるよう、それぞれの立場から介護というものを考えていただく日として開催しています。

介護フェアには、介護関係者や一般の方など約300名の参加をいただきました。

高橋元太郎さんをお迎えしての記念講演の他に、この度はかわいい保育園児たちが一生懸命練習した歌や鍵盤ハーモニカ演奏で会場を盛り上げてくれました。他、養成校の学生がこの日のために練習してきた元気いっぱいのお出し物、介護実践研究事例発表、頼もしい青年隊の「晴れる家ハレルヤ」によるDVDによる活動紹介や寸劇などもありました。

また、会場内では、各企業からの介護や福祉に関する展示や相談もありました。

かわい  
かったね



蓮昌寺保育園



たちばな上中野保育園



弘西保育園

## 介護フェア 記念講演



講師

俳優・歌手

高橋 元太郎さん

### たかはし げんたろう 高橋 元太郎さんプロフィール

1941年 東京都のお生まれ。  
“スリーファンキーズ”のメンバーとしてデビュー後、1962年には、ソロ歌手として独立されました。  
大映・東宝のヒット映画をはじめ、テレビでも人気者となられ、なかでも、TBSで放送されている「水戸黄門」の“うっかり八兵衛”役はあまりにも有名です。  
また、昨年のNHK連続テレビ小説「マッサン」では島爺（しまじい）役を演じていらっしゃいました。  
現在は、俳優業の他、歌手活動や講演活動、ボランティアへの理解を深めてもらうための活動、備前焼の個展開催など、多方面で、ご活躍されています。



### 介護フェア 記念講演の感想

時代劇「水戸黄門」のうっかり八兵衛役で多くの人に親しまれた俳優・高橋元太郎さんに「うっかり八兵衛～出逢い・ふれあい・支えあい～」と題して講演をしていただきました。

水戸黄門の主題歌でお馴染みの曲を流し、歌いながら壇上に登場され、今にも水戸黄門、助さん、格さん、も一緒に登場されるのではと思うほどでした。お父様を戦争で亡くした高橋さんは、19歳での歌手デビューや水戸黄門への出演経過、34年間交流を続けている身体障害者グループなど自らの人生に影響を与えた事柄や出逢いを紹介していただきました。

「最初は、つらいと思えることでも感謝の気持ちが湧くとそれぞれが人同士の支えあいにもなる。また、俳優として、また各地で講演させていただく中で多くの出逢いがあり、それが自身の成長や喜びとなっている。」などユーモアを交えながら楽しくお話をさせていただきました。また、後期高齢者の仲間入りをしますと言われていましたが、お話の間には歌手時代のリズムカルな歌や「上を向いて歩こう」などはつらつとした声も披露していただき、水戸黄門のうっかり八兵衛さんを知らない養成校の学生さんたちも盛り上がっていました。

高橋さんの温かな人柄に触れた講演でした。

\\がんばっています\\

# 「介護フェアに参加して」

青年隊「“晴れる家ハレルヤ”」隊員

## 松本 元気

高橋さんの話で「今のこの仕事に出会ってなかったら、今の自分はなかった」との言葉が「グーッ」と胸にきました！



## 大佛 悟史

高橋さんの話で親に感謝すること出逢いに感謝することを聞いて面白くてためになる話でした。

寸劇は緊張し、かみまくりましたが、なんとかやり遂げて良かったし楽しかったです。

## 横田 加奈子

高橋元太郎さんは、サラリーマン時代、貼り紙を見て応募したオーディションに合格。家計が苦しい中、一人親で育ててくれたという感謝の心と、歌手になりたい自分の夢に突き進む姿に感動しました。

## 西本 光男

青年隊「晴れる家ハレルヤ」として活動紹介と寸劇「桃太郎」を朗読&歌唱させていただきました。活動紹介ではDVD映像を使って年間の活動をわかりやすく紹介できたと思います。

寸劇の「桃太郎」はシナリオを介護関連の物語にアレンジしてあり、朗読していて面白かったです。自由に楽しく面白いことをやろうとしている雰囲気伝えられたらと思いみんなで練習に取り組み、当日も目立つ衣装を着て少しでも興味を持ってもらえたら良いなと思って臨みました。

が、本番では緊張して余裕の無い状態で時間オーバーしてしまいました。

短い練習時間でしたが、出演者3人の特技を活かし、大きなトラブルもなく楽しんで無事に終えることが出来て良かったです。

隊長の福田さんの「晴れる家の活動がメンバーの負担になってはいけない」という考え方に共感しているので、今後、晴れる家隊が世代交代しても楽しく活動していけるよう模索して行きたいと思っています。

# 介護福祉士養成校の学生



岡山医療福祉専門学校は最近話題のフラッシュモブで「おばあちゃんの100歳の誕生日を祝うためにおじいちゃんがサプライズとして介護福祉士に依頼し、おばあちゃんの誕生日を祝う！」という内容で発表のトップバッターとなりました。

今まで練習した成果を出し切り、岡山医療福祉専門学校らしく「明るく」「前向きに」そして「笑顔いっぱい」で発表できました。観客の皆様にも協力していただき、盛大に行えました。発表後は、「楽しかった」

「やりきった」という達成感でクラスもますます一致団結しました。

そして今回のイベントで、「介護の日」を広めるために、普段福祉施設で働いている人がイベントスタッフとして活動されていることを知りました。

私たちもこれから少しでも多くの人に介護の魅力を知ってもらおうよう、啓発活動に力を入れていきたいと感じました。

岡山医療福祉専門学校 景山 祐恵

## 介護を社会に伝える～愛をこめて介護を～スライドショーを終えて

介護福祉実習を行い、多くの施設で、職員、利用者の方と関わるなかで、様々な経験、表情、言葉を得ることができた。関わった利用者の方の数だけ、エピソードがあり、その一つ一つが自身の喜びや達成感につながった。その気持ちは、普段の生活の中では得ることのできないものであり、今までの介護に対するイメージを大きく変えるものだった。このような介護の魅力や温かさを、介護に関わりのない人に伝え、イメージを変えたい、関心を持ってもらいたいと思った。

全員で、実習での様子の話し合いを重ね、エピソードを取り入れることで観客に分かりやすく伝えるように配慮した。スライドの背景には、手描きのイラストを挿入することで、介護の温かさを伝えるとともに、私たちらしさを出せるよう工夫した。

今回、このスライドを作る中で、私たち自身も、介護に関わる前と後の心の動きを整理することができ、改めて介護に対する認識を確認し、今後の実習や卒業後の仕事で活かしたいと思った。



岡山県立大学 介護コース一同



私たちは、「二度目の初恋～認知症の妻と生きる」という創作劇をしました。どうしたら認知症の問題を身近に感じてもらえて、利用者の内面の苦しみを理解してもらえるか、何度も修正を繰り返しました。菅原直樹先生 (OiBokkeShi) にご指導いただきながら、スタートは小グループに分かれて複数の劇づくりを行い、みんなで選考し、シナリオづくりから大道具、衣装まですべて学生で手掛け完成しました。本番では練習と同じように演じることができました。練習をたくさんしたので、本番は一瞬で終わったように感じました。観客に笑いや涙が湧き、成功だったのではないかと思います。この劇を通して、クラスが一体となって頑張れたことが何よりよかったです。

美作大学短期大学部 鶴旨 花菜子

# によるアトラクション

介護フェアに参加しました。介護フェアでは養成校の学生による発表や、水戸黄門でおなじみのうっかり八兵衛役の高橋元太郎さんの講演がありました。養成校の発表は私たちも参加させてもらい、〇×ゲームとダンスを披露しました。〇×ゲームでは会場全体の方と一緒にいき、とても楽しかったです。また会場の方々も積極的に参加され、とても楽しまれている様子でした。ダンスでも会場の方と一緒に踊りました。しっかり練習してきたことを発揮でき達成感があり楽しくできました。力を合わせてやり遂げたので団結力も生まれ良かったと思います。他の学校の方の発表は凄く練習されたのか完成度が高く、観ている人を楽しませる内容が多かったです。素晴らしい発表でした。



高橋元太郎さんの講演はとても心に残りました。どんな辛いことがあっても最後に「ありがとう」という言葉をつけることの重みを知りました。またとてもユニークな話も良かったです。自然と笑顔になってしまいました。高橋さんの昔の話で「歌手だったんだよ」と言われておりとても驚きましたが、高橋さんの歌声を聴くととても上手でした。貴重な体験ができたと思います。

今回の介護フェアに参加したことでたくさんの経験や体験ができたと思います。11月11日は介護の日ということを知って一人でも多くの方に知って欲しいと思いました。

順正高等看護福祉専門学校 介護福祉学科2年 中森 結太



本校のアトラクションは、最初に One Direction の「What Makes Your Beautiful」、次にマイケル・ジャクソンの「スリラー」、3番目に三代目J Soul Brothersの「R. Y. U. S. E. I.」、ももいろクローバーの「怪盗少女」、三代目J Soul Brothersの「Share The Love」のサビの部分のみを踊りました。そして、手話で「ひまわりの約束」を行いました。

参加した学生から、「25人、全員でダンスができたことがうれしかった。お客さんも一緒に乗ってくれてすごく楽しかった。他校の人とも交流できたので、いい経験になりました」、「他校の目指すことが一緒の人たちと交流でき、福祉用具を見たり、講義も聞けて、改めてがんばろうと思いました。」「ステージを見に来られた方たちに、僕たちのステージを見ていただき、うれしかったです」、「介護福祉士会等の施設の事例や介護に関する劇を見て、学校では学べない貴重な話を聞くことができ、とてもよい経験や勉強になりました。」などの感想がありました。

玉野総合医療専門学校 徳山 ちえみ

「介護の日」のイベントに初めて参加しました。介護の関係の方だけでなく、一般の方も来られており、介護に関心を持たれている人が多いと感じました。

私たちの学校は、ダンスとうらじゃを踊りました。うらじゃ音頭のときには、他の養成校や介護福祉士会の皆さんも一緒に踊り、終わった後に「楽しかった。」と言ってもらいました。学校で練習した甲斐があって達成感がありました。

介護は、「大変」「つらい」というイメージがありますが、このイベントを通して、少しでも「介護っていいなあ」と思ってくれるとうれしいです。私たちも介護の日のイベントで学ぶことが多くあり、楽しかったです。



旭川荘厚生専門学院 1年 小林 由佳

# 介護実践研究 事例発表

★このたびの介護フェアでは、新企画として  
介護実践研究 事例発表の場を設けました。

## 「夢をかなえようプロジェクト」

発表者：奥津広済園 廣瀬 まい・幸松 美智代・二木 恵美子

介護フェアに参加し、また15分という貴重な時間を与えていただきありがとうございました。自分たちの取り組みを改めて振り返るよい機会となりました。

奥津広済園ではご利用者に、入所前の生活とつながりを維持していけるようご家族と協力しながら暮らしていただいています。

毎月行われるリーダー会のメンバーで研究発表に挑戦しようという事になりました。要介護者が施設に入所されても楽しい事や希望がもてる状況をつくりたいと考え「夢をかなえようプロジェクト」と題し、取り組みを始めました。



実践してみて感じた事は、ご利用者の「うれしい」「楽しかつ

た」というプラスの思いが生きる意欲につながっていくという事、また心と体の両方からの支援が大切だという事を学びました。

今回介護フェアで発表するにあたって不慣れなため非常に緊張しましたが、とても良い経験ができました。また普段の仕事では関わる事の少ない学生の皆さんに刺激をもらい、園児たちの発表にもとても癒されました。私たちにとっても有意義な1日となりました。

奥津広済園では介護の魅力について施設内アンケートを実施しました。結果「よく笑ってくれた時、自分も幸せな気持ちになる」「ありがとうと言ってもらえるととてもうれしくやりがいがある」という意見が多くみられました。今後も奥津広済園ではご利用者に希望をもって生活していただけるよう支援していきたいと思っています。



(順不同)

### 一般参加者の感想

#### 一般参加 (女性)

Q: 何でイベントを知ったか?

A: 西ふれあいセンターにあったチラシ

Q: 介護のイメージは?

A: 自分がされる側でもする側でも大変だな～というイメージ

今は「ボケない事」を心掛けて生活しています

Q: ご自分が介護を受けるとしたらどんな介護福祉士にお世話をしてもらいたいですか?

A: きっと認知症になったら言えないし職員は選べないので優しくて気が利く人が良いです



#### 一般参加 (女性)

Q: 何でイベントを知ったか?

A: 孫が学校でチラシをもらってきた

Q: 介護のイメージは?

A: 娘がヘルパーをしていて大変な仕事だと思う。出会いがあり人生勉強になっていると思う

Q: ご自分が介護を受けるとしたらどんな介護福祉士にお世話をしてもらいたいですか?

A: 利用者の気持を大切にする人

#### 学生 (女性)

Q: 学校生活はどうか?

A: 毎日が忙しいが一日一日を大切に悔いのない学校生活を送りたい。実習でたくさんの人と出会い楽しかった。

Q: なぜ介護福祉士を目指したのか?

A: 訪問介護員の実習で特養に行った時に利用者さんがマイナスの発言が多かった。自分が楽しみのある生活が送れるような存在になれたらと思ったから。

時に背中を優しく押したり、一緒に歩いて行けるような介護福祉士になりたいと思います。

No.	展示・広告企業様一覧
1	東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
2	岡山リハビリ機器販売有限公司
3	医療法人誠和会 介護老人保健施設福寿荘
4	日本福祉大学 岡山オフィス
5	ダイヤ工業株式会社
6	ライフメッセージ株式会社
7	株式会社創心會
8	株式会社 GIRASOLE 『岡山ひまわり校』
9	友野印刷株式会社
10	新青山株式会社
11	株式会社パソナ岡山
12	佛誠屋
13	株式会社アスティコ
14	株式会社大塚製薬工場
15	森脇法律事務所
16	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー 岡山支店
17	株式会社ケアアクション
18	ラージ有限公司
19	株式会社 QOL サービス
20	合資会社わらべごころ
21	株式会社生き生き創健館
22	株式会社 M・S・P 眠りのこだわりミュージーデ
23	株式会社ウチダ
24	岡山手延素麺株式会社
25	WILL+美容室 岡山 Serati

ご支援、ご協力ありがとうございました。



# 突然インタビュー

第3回目の今回は青年隊「晴れる家ハレルヤ」の福田洋平さんにインタビューしました。職場のある美作市・グループホーム北山へお邪魔させて頂き、お話を伺いました。



## Q：介護福祉士になられたきっかけは何ですか？

A：高校入試の時に「人のためになる仕事」をしたいと漠然と思いました。高校生になり、特別介護老人ホームでのボランティアを経験し、老人ホームへの就職を希望しました。当時、高卒での男性職員の求人がなかったので、先生から「じゃーここに行けば。」と勧められた専門学校に入学しました。

## Q：青年隊「晴れる家」の活動内容は？

A：4年間やってきて思うのは、メンバーが県内バラバラなので休みを合わせて集まることが難しいです。自由にやってもよい活動なので、誰からも企画が挙がらないと活動ができないんですよ。ほとんど活動できない年もあったけど、今年は4月に花見と公園のごみ拾いを兼ねて行い、6月には献血をしました。新年会は毎年行い、飲み会は年に

何回もしていますよ。介護フェアでは毎年出し物をしています。今年は4月の花見から介護フェアまでの活動をDVDで発表しようと決めていたから、内容はとも

かく、今までで一番計画通りにできましたね。寸劇もみんなでリハーサルまで行い、音響や照明まで考えた演出ができたから達成感がありました!!

## Q：仕事のやりがいは何ですか？

A：やりがいとは少し違いますが... 今までしたことがなかった料理を夜勤や当番で作るようになり、他の介助も行う中で充実した生活ができてることがありがたいですね。

## Q：今後してみたいことは何ですか？

A：ないんだよな～（笑）基本的に介護をこうしたいというのはなくて。昔から介護が素晴らしいと持ち上がっていくのが嬉しくないですね。それよりも介護職の知識が介護を知らない人々に浸透して欲しいと思いますね。例えば、車椅子に乗った人が車のボンネットを開けることが出来ない場合、介護の知識を持った人がいれば、そのことに気づき手助けができると思います。介護の知識が広く伝わるようになっていいなあ。

## Q：休日の過ごし方・趣味・特技は何ですか？

A：趣味はバイクに乗ることです。最近はツーリングに行けていないけど、通勤などの移動手段で乗っています。

子どもが空手を始めたので、2年前から一緒にしています。県大会や中国地区大会にも出場していますよ。

## （インタビュー後記）

世代が近いということと、気さくな性格から話が膨らんで予定時間にあっという間になりました。ハレルヤ隊、ハレルヤ隊とインタビューする私たちに正式名は青年隊「晴れる家ハレルヤ」と教えてくれました。福田さんの話を聞き、私たちも同じ介護福祉士として切磋琢磨していきたいと思いました。今回は介護フェアの直後でお疲れの中、貴重なお時間をありがとうございました。

（広報委員：大森 幹人・難波 めぐみ）



# 地区だより

## 東 備 地 区

東備地区は県東部に位置し、国宝 閑谷学校・長船の刀剣・和気清麻呂そして備前焼と文化、歴史があり、和気アルプスや中央には雄大な吉井川の流れ、おいしい桃の採れる自然豊かな地域です。



会員数は114人で、仲良く活動をしています。「会員に研修で還元を」との考えで年間3～4回の研修を行っています。また、初秋には毎年、介護相談を行い地域の方からの相談や、ゆっくりと人生を語って頂いたりしています。地域の方の困り事や介護に対する不安をお伺いし、少しでも安心して笑顔でお帰り頂けたらと思っておりますが、意外と私達の方が元気をもらっているのが現実です（笑）

これからも地区会員・地域の方と近いところで活動していきたいと思っております。

これからの時期は何と言っても日生の牡蠣!!是非、牡蠣オコを食べにいらして下さい。（報告：土井 美和）

## 岡 山 地 区

毎年、2回の研修会と初任者研修、介護相談を行っています。



介護相談では、旭川荘結びの杜で行われた「環境福祉フェア」に参加させていただき、地域の方や

介護を目指す方々との交流も図っています。

今年度の初任者研修においては、岡山県介護福祉士会からの依頼による「福祉用具」について講師をお招きし行いました。

また、一般研修会では役員が企画しテーマを決めて実施しています。「精神疾患の理解と支援」ということで精神科病院から講師をお招きし講義をしていただきました。

また、もう1回研修を行う予定としているので、奮ってご参加ください。（報告：上所 英司）

## 平成27年度 介護相談活動



今年度も、県介護福祉士会や地区において介護相談を行いました。この活動には、岡山県共同募金会の助成を受けています。また、赤い羽根共同募金にも参加しています。参加していただいた会員の皆様、ありがとうございました。



介護相談 in 東備  
(9/18 百菜市場和気店)



介護相談 in 岡山  
(10/24 旭川荘環境福祉フェアにおいて)



介護相談 in 井笠  
(10/18 井原ふれあいフェスタにおいて)



赤い羽根共同募金  
街頭活動



介護電話相談



# 初任者研修

## ●東備地区 (テーマ：医学知識)

日 時：平成27年11月20日 (金)  
場 所：赤磐市桜が丘いきいき交流センター  
講 師：サンヨー薬局和気店 薬剤師 武蔵 仁 氏

### ～認知症の薬最前線～

19：00からという時間にも関わらず18人が参加し、日々解明されている認知症の理解とケア原因や進歩している薬についてご講義を受けました。

話の中でアルツハイマーの原因物質は発症25年前から溜まって来ている事や糖尿病、喫煙が発症率を上げて有酸素運

動が発症率を下げるなど怖くなるような話もありましたが、将来に向けて今から予防する事の大切さも学びました。

また、ユマニチュードと言う技術を紹介して頂きました。徹底して人間らしく接する事でストレスホルモンを軽減しBPSDを和らげる効果があるとの事でした。心動かされたのは「介護者そのものが薬になる」ということで、介護福祉士として日々進歩する薬を理解して多職種と連携を図り投薬検討や内容の見直しも大切です。まずはケアの見直しをして自分自身が良い薬になれるように努力し明日からも頑張ろうと思える研修でした。

(東備地区：土井 美和)

## 地区研修会

### ■岡山地区

日 時：平成27年10月31日 (土)  
場 所：旭川荘研修センター  
講 師：林道倫精神科神経科病院 地域医療部長  
星 昌子 氏

私は老人施設の介護職として、精神疾患をもつ利用者様の対応は正直大変であると、ネガティブな発想しかできてきません。今回の研修会で精神疾患について改めて学ぶことができました。

実際に、「大勢子どもがきとる、神さまが色々言ってくる、職員が悪口を言ってくる。」など幻聴幻覚のある方の対応は難しいと感じます。

幻聴のだいたいは辛いものということ、神様の声は絶対、そこを、私たちスタッフが精一杯安心する傾聴、声かけ対応をしていかないといけないと感じました。また説得は無駄な対応である場合もあり症状に応じた距離感が必要だと学びました。真剣に話す時、軽く「大丈夫よ！」と伝える時、辛い、苦しいしんどいということを理解していきたいと思います。

そして躁鬱病には誰でもなる可能性があるということ、外食が増えたら要注意など自分の生活を思い出しながら、決して人ごとではないのだなと感じました。

精神疾患をもつ利用者様の対応は簡単とは言えません。相手に寄り添った、症状にあわせた対応を考えながら、少しでも薬に生活が送れるようポジティブな発想で援助していけたらと思います。

(岡山地区：牧野 好美)



# 介護技術基礎講習会



**日時** 平成 27 年 9 月 17 日 (木)

**場所** 岡山県総合福祉会館 5 階講座室

**講師** 介護技術指導委員会 土岐 雅嗣さん

## 参加者感想

午前中の講義では、介護職員の専門性と役割やコミュニケーションの意義と目的等を学ばせて頂きました。

午後は実技中心で受講生同士の意見・感想の場も設けられました。そうした事で、より介護技術についての気付き・理解ができたと思います。

講義で特に印象に残ったのは、“プロは何でも要望を叶える、応じるものではない。あくまでも利用者の自立支援を目指す。これが家庭の介護との大きな違いである事や特に自分よりの判断に知らず知らずのうちにちがちなので気をつけるように”という事でした。

実技においては、介助させていただくポイントには理由があり、それを意識する事が大切だというお話でした。

介護福祉士の資格を取得してまだ 2 年程ですが、いつの間にか業務の流れの中で忘れがちになってしまう事があります。そんな中で今回改めて講義を受け、今だからこそ基本に戻って改めて勉強し、再確認できた事が、とても重要なのかも知れないと実感しました。これからも機会があれば色々な講習会に参加させて頂きたいと思います。

(岡山地区：金子 セツ子)

現在、通所リハビリに勤務して 10 数年が経過しました。介護職として、自分の知識・技術が経験を重ねていく中で、利用者様に負担をかけている介助方法になっていないか再確認する必要があると考え受講しました。

介護場面の中での基礎を根柢を通じて理解・実践・情報共有をしていくことは、現場での連携を深めていくことや、新たな介助方法・視点等統一した取り組みにつながるきっかけとなると感じました。目的や効果を理解することによって、新人の育成、中堅やベテランスタッフ同士の知識・技術交流を行っていくことはとても重要です。受講をした中で、自身が介護場面の中で、利用者様に対して適切、個々の状態に合わせた声掛け、利用者様主体の考えが薄くなっていたことを実技の中で再確認することができました。他者の実技、声掛け、関わり方を見ることによってとても参考になりました。

現場で実践ができることを追求しながら、利用者様が自分らしく自己選択や自己決定がしやすい環境設定を実践していきたいです。

(倉敷地区：多賀 康行)

## 介護技術講習指導者養成講習会

**日時** 平成 27 年 10 月 17 (土)・18 日 (日)

**場所** 美作大学

**講師** 介護技術指導委員会 田淵 美野里さん・須江 裕子さん

### 受講者の感想

研修に参加したきっかけは、子育て中で介護の現場から離れていますが、もう一度介護の基本を学びたいという思いからでした。久しぶりの研修についていけるのだろうかという不安と、どんなことをするのだろうかという楽しみな気持ちがありました。

実際に技術の研修に入ると、なんとなくではありますが体は覚えているということを実感するとともに、自分が学んだ介護技術と今の介護技術とのギャップに衝撃を受けました。しかし、それがまた良い緊張感を生んで初心に戻って研修を受けることが出来ました。そして改めて介護の楽しさを体験することが出来ました。

今回の研修は指導者養成ということで、指導者という立場になるので自分自身がその役割を十分理解していないといけないという難しさも感じました。基本、基礎を確実にという忘れていたことを思い出すことができ、二日間の研修はとても充実したものになりました。

今回の研修で学んだことは一回限りではなく、テキストやマニュアルを繰り返し見直して確実に自分のもの出来るようにしていきたいと思います。

(美作地区：米井 千夏)

# 一般研修会

日時：10月30日（金）

会場：県総合福祉会館

## 午前の部

### ●肝臓病について

講師：岡山大学病院新医療研究開発センター 肝臓病教室メンバー

### ●ストーマの基礎

講師：岡山大学病院看護部

青井 美由紀 氏

## 午後の部

### ●口腔ケア

講師：岡山大学病院摂食・嚥下障害認定看護師

谷口 恵子 氏



参加者：21名

### ◆感想

- ・肝臓の病気について、具体的にわかりやすい説明でした。自分は、少し肥満気味であり、食事療法など本日勉強させていただいたことを守っていきたいと思います。スキンケアなどの具体的なやり方は、今後参考にして使っていきたいと思います。現在行っていることの反省などもでき良かったです。(匿名)
- ・吸引は実際に職場では行っていませんが、勉強する機会があり学ぶことができ良かったです。皮膚観察の大切さを知ることができました。トラブルを起こさないために日々の観察やケアを行い、万一皮膚トラブルが起こった場合は早めに対応することが大切と感じました。(矢部真智子)
- ・職場で何度となく聞いており理解していた病気やケアが少し深く理解できた。今までの知識では、注意できなかったことが、意識していけることができるようになると思う。(薬師寺美紗子)
- ・声かけありとなしの状態で、カテーテルを口の中に入れ合う体験では、実際どのくらい挿入されているのか、恐怖心なども体験できました。(二階堂哲也)



### ◆今後、職場でどのように活かしたいと思いますか。

- ・職場でもストーマの方や肝炎の方がいるので、今回の勉強したことを常に意識して対応したいと思います。また、スキンケアも大事です。日頃からいつも「この人は、どうなのかなあ?」と思いながらケアをしていこうと思います。(匿名)
- ・現在、サ高住のヘルパー兼介護員として勤務しています。最近、介護度が次第に重くなって来られる入居者様が多くなりました。今すぐに役立つことは少ないかもしれませんが、入居者様の介護度の進み具合に対応させていただけるよう、今回勉強させていただいたことをしっかり復習し、職場の仲間に伝えていこうと思います。(匿名)
- ・高齢のストーマの患者も居るので、ポイントを気をつけながら交換や観察をしたいと思う。口腔ケアのポイント、吸引チューブを入れられることの苦しさに対して、優しい声かけができればと思う。(匿名)
- ・ストーマでは、仕事の中で関わることもあるので、実際に付けられている方の気持ちや痛み等にもっと寄り添っていたらと思いました。肝炎や肝臓については、名前は聞いたことはあるものの、今回の研修で改めて知った(学んだ)ことが多かったため、検査についてももう少し気にかけてみたいと思います。職場でカテーテル交換や吸引ビン掃除を行っているが、吸引の際にもっとどのようなどころに気をつけているか聞いていきたいと思いました。(二階堂哲也)



# 中堅職員研修 ～介護福祉研究の進め方講座～

日時：平成 27 年 11 月 18 日（水）

場所：岡山県立大学

講師：岡山県立大学 保健福祉学部教授 谷口 敏代 氏



私が勤めている事業所は研究に対して積極的に取り組んでいるにも関わらず、自分自身が介護主任という立場にありながら、介護研究に対する専門的知識が少なく、より知識を深めたいと思い今回研修に参加しました。

講義内容としては、研究の進め方、研究テーマの決め方、研究に関する論文の探し方・読み方、研究成果の発表方法やデータ分析の方法など研究を進めるための基礎知識を中心に講義して頂きました。

研究を行うことは、職員のやる気や日々のケアの見直しにもつながり、職員同士のチームワークの向上、利用者、家族とのコミュニケーションの機会を育みます。また介護研究に取り組む事で自分たちの仕事を広く社会に発信し、介護福祉士としての評価を高めるために必要であると学びました。忙しい業務の中、研究を行うことはとても大変なことです。しかしそれ以上に得られるものはたくさんあります。職場としては研究がしやすい業務体制作りや、正しい知識で指導ができる人材育成が大切になってくると思いました。

今回学んだ知識を現場の職員と共有し、研究に対して正しい手順でより良い研究ができるように取り組んでいきたいと思えます。研究を通してケアの質の向上、職場の活性化につなげていければと思います。

(老人保健施設 虹 池田 光裕)



私がこの研修に参加した動機は、研究の基本を学んでみたいと思ったのが一つと、谷口先生の講義が好きだからです。

現在は病院に勤務していますが、研究をする機会があまりないのが現状です。「介護として何か出来ることはないのか」「研究とは…」など、研究についてよくわかっていなかったことに気づき、職場の同僚と一緒に参加しました。

私が思っていた研究と違って、谷口先生の研究の講義は、研究を始めるにあたってのテーマの決め方から、自分の研究に似ている文献探しなど詳しく教えて頂きました。研究の修士課程や博士課程の違いも今まではよくわかりませんでしたが、この研修でその違いも学ぶことが出来ました。研究を行うにあたっての注意事項や研究する内容についての文献を収集したり、共同研究の仕方やその苦勞なども細かく教えて頂きました。

私はテーマをつけるのが苦手で、いつも漠然としたテーマをつけてしまっていますが、自分のつけたテーマのどこを直せばいいのか、など細かく指導していただきました。

1日の講義で全てを学ぶことは難しく、わからないこともたくさんありますが、研修に参加したことで、研究をしてみたいという気持ちになりました。

どこの何に向けて、というのはないですが、自分なりに何か出来ればと思っています。谷口先生にいろいろとご指導を仰ぐことがありますが、その際はよろしくお願いたします。

今後も研修会等参加していきたいと思えます。ありがとうございました。

(慈圭病院 角南 直美)

# 報 告

## 第21回 中国・四国ブロック研修会 山口県大会

「今、介護の仕事はおもしろい！～楽しさ・深さ・広さを伝えよう～」

**開催日** 平成27年9月26日(土)・27日(日) **会場** 山口県下関市 下関グランドホテル

26日は厚生労働省の基調講演、特別講演では山口県「夢のみずうみ村」代表の藤原茂氏より「いき・る 支援 10か条」を紹介して頂きました。

27日は岡山県から、第一分科会「施設での取り組み」に三宅典子さん、第二分科会「在宅での取り組み」に佐藤ひづるさんが発表し、第三分科会「障害を持つ利用者への取り組み」に安達会長がコメンテーターで出席されました。(草加 昭子)

### 中国四国ブロック大会 岡山県発表者の感想



この度の発表では、自分たちの行った介護に対して振り返るいい機会となり、自信にもなったように思います。

介護は、形のないサービスです。目には見えませんが、ご利用者の方々の笑顔や「ありがとう」の言葉で、満足していただけているかを実感することができます。これからも、ご利用者に寄り添い、笑顔あふれる施設にしていきたいと思います。

(岡山地区：三宅 典子)



私は今回の研修には事例発表者として参加しました。「介護人材確保と介護福祉士への期待」という講演や、藤原茂氏の生活行為力の見つけ方や、一坂太郎氏の興味深い話を聞き、改めてやりがいのある仕事だと感じました。懇親会では竹で作った楽器の素晴らしい演奏や巖流島の戦いの芝居等趣向を凝らしてあり、2時間があっという間でした。同テーブルの他県の方と色々話が出来、有意義な二日間でした。(井笠地区：佐藤 ひづる)

## 第22回 全国大会 in みえ

「生きがい やりがい 働きがい」～地域・全国・世界へ介護の魅力を伝えよう～

**開催日** 平成27年12月17日(木)・18日(金) **会場** 三重県桑名市 桑名市民会館



▲会場には忍者出現！

17日(木)は記念講演・基調講演があり、有能な人材確保には職員のストレス軽減が必要で、それにはやはり「介護技術・知識」向上が決め手となると言われたのが印象的でした。

18日(金)3分科会、2講演会の後、「介護福祉士として何を目指し、何を発信するのか！～介護離職ゼロの実現のために～」と題し、アザレアンさなだ総合施設長 宮島氏の司会により討論会がありました。未来の介護を牽引すべき介護福祉士への大きな期待とそれに応える為には段階を踏んだ研修を受けていく必要を感じました。(湯川 美帆子)

シリーズ  
委員会報告

## 介護技術指導委員会の活動を紹介します。

介護技術指導委員会では、平成16年から指導者養成を始め、現在75人の指導者を養成し、岡山県介護福祉士会への講師登録をさせていただいております。

さまざまな講習会への講師派遣により、介護技術の向上・普及及び、技術指導活動を行っています。



## ●今年度行っている活動（講師派遣）

- ・介護技術講習会（美作短期大学）
- ・実務者研修・介護技術初任者研修（介護労働安定センターからの委託）
- ・介護技術研修〈基礎コース・発展コース〉（福祉人材センターからの委託）
- ・介護福祉士実技試験対策講座（岡山県介護福祉士会主催）
- ・実務者研修・初任者研修（事業所からの依頼によるもの）
- ・らくらく介護教室・キャリア形成事業・出張講座への講師派遣

## ●岡山県介護福祉士会が行っている技術指導事業

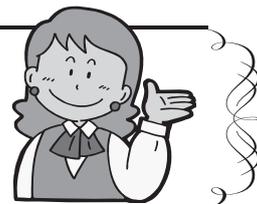
- ・介護技術講習指導者養成
- ・介護職員基礎研修（無資格者対象）
- ・介護職員リーダー研修
- ・介護技術フォローアップ研修
- ・介護グランプリ（今年度初めて2月21日（日）開催）



利用者のニーズの多様化・高度化により、より専門的な支援が求められる中、介護福祉士の専門分野である介護技術の向上に力を入れ、良い人材を育成することで、介護のイメージアップと人材確保に繋がればと考えています。

今後も、各方面からの講習会などの依頼には積極的に活動していきたいと思っております。  
（委員長：齋藤 七七重）

# 一般社団法人岡山県介護福祉士会 代議員立候補者選挙公示



任期満了に伴い平成28・29年度の代議員を選出する為、下記日程で代議員立候補者選挙を行います。

3月1日 公示（選挙規定、選挙権者名簿、日程等）

事務局にて立候補受付



選挙管理委員会にて受付書類確認

3月15日 立候補締め切り

立候補者一覧公示・選挙は投票用紙送付にて実施

選挙結果発表は3月末を予定

## 【各地区代議員定数】

地区名	会員数	代議員選出予定人数
岡山	428	12
倉敷	297	10
東備	123	7
真庭	58	6
美作	187	8
新見	35	4
高梁・総社	126	7
井笠	55	6
合計	1,309	60

※①立候補届出書の用紙は各地区事務局にあります。

※②立候補届出書を提出の際は、戸籍上の氏名をご記入下さい。

## 平成27年度賛助会員の皆様

社会福祉法人 恵風会 特別養護老人ホーム 恵風荘	学校法人 美作学園
株式会社QOLサービス	株式会社キャリアプランニング
株式会社パソナ岡山	倉敷スクールタイガー縫製株式会社
学校法人 順正学園 順正高等看護福祉専門学校	社会福祉法人 かぶと会
学校法人 旭川荘 旭川荘厚生専門学院 吉井川キャンパス	医療法人 新風会（玉島中央病院）
リコージャパン株式会社	社会福祉法人 しあわせの郷
東洋羽毛中四国販売株式会社	社会福祉法人 松園福祉会
友野印刷株式会社	くらしき総合福祉専門学校
森脇法律事務所	中央法規出版株式会社
日本福祉大学	介護老人保健施設 亀龍園
学校法人 川崎学園 川崎医療短期大学	

ご支援ありがとうございます

平成28年度岡山県介護福祉士会  
賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。  
詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。  
資料を送付させていただきます。  
TEL：086-222-3125 岡山県介護福祉士会事務局

# みんなの広場

# ほっとステーション



## 「家族会」

創心会五感リハビリ倶楽部の家族会は、ご利用されているご家族様を対象とし実施をしています。家族会では過ごされている様子をお写真でお見せすること、簡単な認知症講座、そしてご家族様が介護をしている中で困っていることやでてきた疑問などを質問形式で実施しています。参加して頂いたご家族様より「認知症のことが知れてよかった」「今後の介護の参考にしたい」「自分だけが悩んでいるんじゃないということが分かったから頑張れる。」などの感想をいただきました。

今後も継続して行っていき、ご利用者様が住み慣れたご自宅で大切なご家族様に囲まれて生活をしていけるようにサポートを行っていきます。(倉敷地区：創心會 田中 真充)



## 大満足

前の職場の同僚にラーメンを食べに連れて行ってもらいました。岡山市内にあり、ちょうど以前から気になっていたお店でした！同僚も何度も来ていて、グルメサイト「食べログ」でも評判のよい所でした。ちょうど昼時で満席でしたが、すぐに席が空き、評判通りのおいしいラーメンを堪能することができました。

数か月ぶりの再会で懐かしい話に花が咲き、心も体も温まるひと時を過ごせました。(PN：まにぞう応援隊)

## お手柄！

岡山県介護福祉士の事務員さんが振り込め詐欺を未然に防ぎ警察署から表彰されました。

今後も介護福祉士会として啓発活動に励みましょう。(事務局)



## ✉ 県介護福祉士会からのお知らせ .....

### ◇会員登録について

年度末が近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様、必ずその年度中（3月31日まで）に退会届をご提出下さい。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意ください。様式は、事務局へご連絡頂ければ送付いたします。またホームページからも取ることができます。

### ◇生涯研修ポイント確認調査表の受付を平成28年1月末で終了いたしました。

※「かんたんクッキング」は、都合でしばらくお休みさせていただきます。



## ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、そんな情報をお待ちしています。



### 編集担当 岡山県介護福祉士会 広報委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 石原 愛  | 土屋 教子 |
| 平井 舞  | 田中美保子 |
| 南 多喜子 | 中村 幸子 |
| 土井 美和 | 林 彰子  |
| 森谷 謙作 | 難波めぐみ |
| 小林 貴子 | 田辺 昌江 |
| 大森 幹人 | 池田 和彦 |